



# 森ボラ 通信

第221号 2020年10月20日発行  
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**  
URL <https://www.shinrin-npo.info/>  
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター  
TEL (fax): (011) 816 - 7010  
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

## トピックス

### ◆ 2020年研修旅行・近自然森づくりの実践現場を見学

2020年の研修旅行は野幌道有林の再生事業を指導いただいている近自然森づくり協会理事長である岡村先生の平取町の実践現場(イオルの森)とアイヌ文化やアイヌと森の関りを学ぶために平取町立アイヌ文化博物館を見学しました。

#### 《二風谷ダムの緑地造成のために植樹した場所を見学》

植栽は円形状に10本植栽。当時は防草シートではなく碎石とチップを使用。公園利用であることから歩行スペース確保のために枝を切断。

#### 《平取町アイヌ文化情報センターでアイヌ文化伝承の森再生に係る取組みを聞き取り》

株式会社平取町アイヌ文化振興公社 21世紀伝承の森グループの職員より、「21世紀・アイヌ文化伝承の森再生計画」の概要やこれまでの取組み等について説明を受けた。

#### 《現地見学(国有林)》

元々の現況は未立木地(土場跡地)。土壌が良くない箇所は植生の高さが低く、実生が多いことから実生に防草シートを敷設している。土壌が良い箇所は植生が高いことから、全面下草狩りを行い、3mの防草シートを敷設して植栽する。鹿柵(高さ2m50cm、支柱は丸太を地中に1m打込み、ネットはステンレス入りのもの)を設置している。鹿が鹿柵の扉を開けて被害を受けたので、扉が容易に開かないように改善を行っている。下刈りは植生の様子を見て実施する。

#### 《苗畑とオヒョウの再生試験地を見学》

#### 《現地見学(町有地・有用植物保全モデル地区)》

アイヌの人々が伝統的に利用してきた木本・草本を育成し、持続的に利用できるようにすることを目的に設置された。一度シカの被害を受けている箇所であったが、植栽されたオヒョウがしっかりと育成していることを確認した。

#### 《平取町立アイヌ文化博物館を自由見学》

今回の研修旅行で学んだことを、今後の野幌道有林の再生事業の活動に活かしていきたいと思えます。最後に案内

をしていただいた岡村先生そして見学場所での説明、現場への車両を用意してくださいました平取町アイヌ文化振興公社の木下様はじめ関係者の皆様には厚くお礼を申し上げます。(文・村上)

(寄稿された村上さんは、入会1年目、20代の新進気鋭の青年です！ 記・編者)



平取町アイヌ文化振興公社の皆さんと一緒に



岡村先生から3m防草シートの説明を聞く

## 活動報告

### ◆ 2020秋 森しり隊植樹祭の報告

9月27日(日曜日)、爽やかな秋晴れの中、野幌の森で森ボラ協会初めての企画の「森しり隊植樹祭」が開催されました。参加者は、親子森林教室の現役森しり隊員3名、OB隊員6名、保護者9名と幼

児1名、協会員22名の他に、ゲストとして近自然森づくり協会岡村理事長、空知総合振興局森林室工藤室長他3名の総勢45名の大部隊となりました。



3シート目は2家族合同で植樹

9時35分、先ずは開会式を行い、樫棒協会代表から主催者挨拶がありました。今日の植樹祭は「野幌の森自然再生活動」の一環であること（詳細はボラ通6月号参照）、ここに至るまでに岡村先生の「近自然森づくり」の理論と実際を学び、その方法論に則って実生の稚樹の選定保護、植樹場所への防草シート張りなど、何度もこの地に協会員が作業に入って準備してきたことを紹介しました。

続いて空知森林室の工藤室長から、この植栽場所は

2018年の台風で植栽林だったトドマツ林が一気に倒れた場所であること、この度の植樹で森の再生を期待していることなどをお話しされました。

次に岡村先生から「近自然森づくり」（詳細はボラ通7月号参照）について簡単に紹介していただき、今日植樹する稚樹が今後育っていく過程を楽しみにしていることを話されました。

次に参加者と協会員の紹介、スケジュール説明がなされた後、大窪協会員から植樹手順を実践しながら説明し、家族ごとに7班に分かれていよいよ植樹作業開始！

最初は苗木選び。用意された高木、亜高木、低木24樹種から8本の苗木を選び直径3mの防草シートの穴あけ部位に植えていきます。子どもたちはお気に入りの苗木をあつという間に選んで担当シートへまっしぐら。一心不乱に植えていきます。用意された苗木はこの森に自生している樹種であること、簡単なルール以外は各班の子供たちに樹種の選択や植える順番が任されていることは、人の手を介さざるを得ない植樹を少しでもランダム化して「自然」に近づけることに寄与しているのかな？と思いました。植え終わったら草の侵入を防ぐためにシートの切れ目をテープで塞ぎ、木の根元に砂利石を置いて、0.5Lずつの水遣りをして植樹完了。表示杭に隊員名と日付を記入、植栽カードに植えた順に樹種名等記入、そして植えたシートの前で記念の家族写真撮影、7つの班は競うように次々に作業を仕上げていきました。

2枚目のシートは自分たちで穴あけから行いました。穴あけ器が3台しかなく、待ちぼうけの班も出てしまいました。それでも2枚目シートの植樹も粛々と進行。3枚目シートに挑戦した班もありました。

作業終了後は閉会式で、予定した植樹作業が滞りなく終了したことを確認後、陣内さんお母さんの美声による歌唱指導で「紅葉」を合唱、陣内さん一人対全員で輪唱も行い、美しい森の再生を願う皆の気持ちを秋の風に乗せて歌いました。

昼食後は希望者で瑞穂池までの森歩き、途中にトリカブト（何と！）や、サラシナショウマの真っ白な花、オオウバユリの種、マムシグサの真っ赤な実、いろいろな茸などを見て歩き、イヌガヤの熟れた実は甘くて美味しいと親子で盛り上がりました。瑞穂池はすっかり秋の装いでした。

協会員の労を惜しまぬ緻密な事前準備のもと、今日の「森しり隊植樹祭」は楽しく満足度の高いものになりました。どんな森に成長してくれるのか、平均年齢70歳以上の協会員が見守れる先は限られていますが、森しり隊の子供たちが遠い未来もきっとそれぞれのかたちで関わってくれるのではないかと、希望を膨らませた一日でした。（文・合田）



植えた後はしっかり根付くことを願って水遣り

## 技能・安全研修(チェーンソー)行われる (伝達講習とします)

10月6日(火)に澄川都市環境林にて、「北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会(以下、「地域協議会」)」の主催で『令和2年度 第3回技能・安全研修(チェーンソー)』が開催されました。参加者は受講生として当会会員11名、他団体13名、その他講師・事務局9名、合計33名でした。雨上がりの爽やかな空気の中、主催者挨拶、講師陣紹介に続き下記の内容で行われました。



知識研修(座学)では、樹木の保育、チェーンソーの構造、安全操作、振動障害について各講師から概要の説明があり、テキストの熟読を要請されました。その中で気の付いた点は、現在植樹の樹種は多い順からトドマツ、カラマツ、エゾマツとなっている。広葉樹の間伐は樹種が60種と多いので、施業の目的をはっきりさせ、樹冠が横方向へ広がるため、上層木を間伐して空間を確保する。振動障害予防では、操作時間を一日2時間以内、一連続時間10分以内とする。保護具ではチャップス、防振手袋、耳栓、ヘルメット、防塵眼鏡、脛当て、呼子の他に暖かい服装が求められています。

ラジオ体操で体をほぐした後、実技演習を6班に分かれて行いました。最初に直径20cm、長さ2m程の丸太でチェーンソーの使い方の基本を教わりました。ガイドバーの先端部の上側で切ると回転と反対側に跳ね上げられるキックバックには十分な注意が必要です。受け口、追い口を作り伐倒する講習では安全に考慮して直径の10分の1程度の「つる」を残すことが重要です。

いよいよ伐採現場での講習です。場所は管理地区から北側へ歩いて5分程のD-2区で行いました。ここは一部で傾斜木などの伐採は行われましたが、今冬の整理伐を予定している箇所、枯損木、傾斜木、倒木、ツルが多く樹冠が密閉しています。先の実技講習をもとに地面の傾斜、樹形、近くの樹木の状況を判断して伐倒方向を決めるのが安全・確実に伐倒する前段です。講師の指導で各自2~5本の伐倒・玉切り・枝葉整理を行い、今後の整理伐作業の研修を受けました。



講習会場に戻り、チェーンソーの整備・点検・目立ての講習を受けました。チェーンソーを安全に操作するために、大変重要な項目です。受講生は真剣なまなざしで目立ての要領を質問していました。

当会からは11名と多数の参加をしたので、今後のチェーンソー操作実技は今回の参加者を中心に進めて行きます。さらなる知識習得、経験をお願いします。

今回の研修を計画・準備・実行してくださった「地域協議会」の大堀専務、事務局の阿部さん、竹本さんには大変お世話になり、ありがとうございました。今後も多面活動の支援をお願いいたします。(文・櫃棒)

## ■ 澄川の自然 14

### ハクウンボク(白雲木)・エゴノキ科

澄川の森のハクウンボクは、どこも隣の木がミズナラとかシラカンバの大木の陰で、陽が当たらず花が咲けない状態の所ばかりです。

ところが8月末のE-7地区とE-5地区の沢をはさんで階段を作る現場で見つけました。E-5側の斜面から沢に向かって枝を延ばし、沢山の花をつけていました。今はもう実になっている頃です。(文・西野(澄))



## ■ 今月の幹事会

出席者(10月8日):市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井、三橋・矢澤・矢野

1. 2020年11,12月スケジュール(11月幹事会11月2日(月)):活動は当初予定の70~80%を継続。
2. 2020年9月会計報告:了承。今後の収支を精査する。
3. 親子森林教室:9/27報告、10/18予定の確認。「秋の森の大運動会」を初めて開催。
4. 森林・山村多面関係報告:了承。
5. 野幌道有林:獣害防止ネットの構造、個所数を森林室に確認予定。
6. 道民森づくりの集い in 赤レンガ:10/17開催。出展内容を確認。打合せ会議(10/7)2名参加。
7. 現場報告
  - ・9/21 水明郷の森:列杭打設、笹刈り、植栽準備の内一部作業残。
  - ・9/29 ぶんぶんの森:作業道草刈り。
  - ・10/3 烏柵舞の森:植栽列・作業道下草刈り、植栽(アカエゾマツ87本)、施肥試験区生長調査。
8. 現場対応
  - ・10/9 水明郷の森:トドマツ植栽350本、草刈り、列杭打設を予定。
  - ・10/20,24 野幌道有林:植栽、移植、食害防止網設置を予定。
9. その他
  - ・研修旅行会計報告:了承
  - ・薪材搬出:11/9月寒公園、旭山記念公園
  - ・澄川水質・水生昆虫調査:札幌市協働型生き物調査データ作成に参加。
  - ・エルプラザ「森と暮らし」展示要請:時期、内容から今年は協力断念。
  - ・冬季活動時間:12月~3月 活動時間(10:00~12:00) 解散(12:30)、昼食無し。
  - ・SONPO環境財団助成応募:野幌道有林の自然再生事業で応募。

## ■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
9月16日(水)	支笏湖烏柵舞の森	-	降雨のため中止
9月17日(木)	支笏湖烏柵舞の森	-	コロナ対策により中止
9月21日(月)	支笏湖水明郷の森	15	下草刈り、列杭打設
9月23日(水)	澄川/野幌道有林	13	駐車場前広場整備/植樹祭準備
9月24日(木)	研修旅行(日帰り)	16	平取町イオルの森視察(岡村先生フィールド)
9月27日(日)	野幌道有林	21	森しり隊植樹祭
9月29日(火)	支笏湖ぶんぶんの森	13	植栽列・作業道草刈り
10月1日(木)	澄川	15	チップ作業、親子森林教室準備
10月3日(土)	支笏湖烏柵舞の森	14	植栽、草刈り、生長調査
10月3,4日	苫小牧、札幌	-	全国育樹祭(コロナ対策により延期)
10月5日(月)	澄川	14	チップ作業、草刈り、親子森林教室準備
10月6日(火)	澄川	11	チェーンソー安全研修(多面事務局主催)
10月8日(木)	ラルズ生活研究C.	11	幹事会
10月9日(金)	支笏湖水明郷の森	16	植栽、草刈り、列杭打設、モニタリング調査
10月10日(土)	支笏湖烏柵舞の森	-	コロナ対策により中止
10月13日(火)	澄川	15	清掃活動、作業道整備、親子森林教室準備